

科目名	社会学入門A						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照				
開講期	春学期集中	開講学部等	現代社会学部	配当年次	1年次	単位数	2単位
教員名	東 園子						

授業概要／Course outline

本授業の目的は、講義を通じて社会学についての基礎知識と社会的なものの方見方・考え方を身につけることにあ
る。講義は、家族、地域社会、都市、相互行為、宗教、メディア、消費社会など、具体的な社会現象や文化現象を
入り口にそれらを社会学の視座から分析していく。これらの考察を通じて、社会学について理解を深める。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

遠隔授業（オンデマンド授業）

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
moodleから動画を視聴し、小テストに解答する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：授業の概要とスケジュール、およびイントロダクション

授業内容・評価方法・質問の仕方・注意事項等、授業についての説明を行う。また、この授業で捉える「社会学」という学問の特性について、簡単に学習する。

第2回 テーマ：近代化と産業化の社会学

近代化がもたらした社会変容について理解を深めた上で、近代化の重要な一側面である産業化について理解を深め、ポスト工業段階における産業と労働の変化などについても講義を行う。

第3回 テーマ：地域の社会学

都市や農村をめぐる諸概念と社会理論の流れを整理した上で、現代の都市問題や環境問題等についても考察する。

第4回 テーマ：集団と組織の社会学

組織と集団をめぐる諸概念、理論を整理するとともに、近代組織の典型例としての官僚制化の問題などについても考察を加える。

第5回 テーマ：社会化とパーソナリティの社会学

人間が、身近な他者とのコミュニケーションを通じて社会化されていく過程について議論するとともに、パーソナリティ論や社会的性格などの問題についても考察を加える。

第6回 テーマ：家族と親密圏の社会学

家族についての基本的定義やその社会的機能、さらに近代家族の登場とその特徴について考察した上で、現代社会における多様な家族の登場や親密圏の変容について、ジェンダー問題にもふれつつ明らかにする。

第7回 テーマ：階級と階層の社会学

階層および階級概念について社会学の視座から考察を行うとともに、ポストフォーディズム時代における社会階層の現代的変容についてデータをを用いつつ明らかにする。

第8回 テーマ：教育の社会学

主に学校教育の社会学に関する基本的視座と諸概念について講義する。また、学歴の問題や学校化する社会の現状についてもデータを駆使して考察を行う。

第9回 テーマ：逸脱と犯罪の社会学

現代社会における犯罪と社会病理の状況についてデータを用いて明らかにするとともに、逸脱の社会学の基礎的視座について講義を行う。

第10回 テーマ：宗教の社会学

宗教と人間社会についての国内外の基礎的データを提示するとともに、宗教と現代社会のかかわりについて明らかにする。

第11回 テーマ：メディアの社会学

活字メディアの登場以後のメディアと人間のかかわりについて概観するとともに、具体的なメディアやポピュラーカルチャー現象を対象に、メディアのもつ社会的機能について講義を行う。

第12回 テーマ：消費社会の社会学

消費社会の成立についてデータをもとに講義するとともに、ポストモダンないしハイモダンといわれる現代社会における消費文化の現状について考察を加える。

第13回 テーマ：スポーツの社会学

伝統的スポーツから近代スポーツへの展開を歴史的に考察するとともに、スポーツの現代の変容について、メディア論やジェンダー論やナショナリズム論など多様な社会学的視点から考察する。

第14回 テーマ：グローバリゼーションの社会学

グローバル化する現代社会についてデータを使って理解を深めるとともに、グローバル化がもたらす社会的インパクトについて論ずる。人の国際移動、文化のハイブリッド化や観光産業の動向などにもふれる。

★オンデマンド（合計90分相当）

テーマA：生成AIの活用法

moodleから動画を見て、生成AIの概要や使い方について学ぶ。
4月下旬～5月上旬に実施予定だが、期間等の詳細は授業で説明する。

テーマB：まとめと振り返り小テスト

第14回までの授業の内容を振り返り、授業全体を復習する振り返りテストを行う。
動画・テストはMoodle上で配信・実施する。
学期末に実施予定だが、期間等の詳細は授業で説明する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

事前学修：大学HP Moodleにアクセスし、授業用レジュメを参照し、穴埋め部分を考えておくこと。
事後学習：授業用レジュメや関連図書等を確認しながら、授業内容を復習すること。

※各授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2700分程度とする。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・現代社会の大きな変容について柔軟性をもって理解し、論理的に分析する事が出来る。
- ・現代社会の課題について社会学的視座から考察することが出来る。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・ 思考力
専門知識・専門技能
【現代社会学部 現代社会学科】
・社会学における基礎知識
【現代社会学部 健康スポーツ社会学科】
・社会学における基礎知識

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・本授業は、インターネットで受講するオンデマンド授業です。
毎週、期日までにmoodle (<https://ccims.kyoto-su.ac.jp/>) の「社会学入門A」のコースにアクセスして、授業動画を視聴し、設置された小テストに解答してください。
- ・一般的な集中講義は15回分の授業を数日間にまとめて行いますが、この授業は、通常の講義科目と同じように、毎週1回分ずつ進めていきます。そのため、毎週オンデマンド授業を受けてもらう必要があります。
- ・現代社会学部の1年生全員が受講する「入門演習A」の授業は、本授業の内容に基づいて行われます。そのため、入門演習Aの授業日の前日までに、授業動画を必ず視聴しておいてください。
- ・入門演習Aの授業には、社会学入門Aの授業資料（授業用スライドをパソコン等にダウンロード or 授業用レジュメをプリントアウト（印刷）して、空欄を穴埋めしたもの）を持参してください。
- ・小テストの解答期日は、各学生が入門演習Aを受講する曜日にあわせて異なります。入門演習A受講日の前日までに受験してください。

・2年生以上の履修生等、現代社会学部1年生以外の受講生は、毎回、特定の曜日に入門演習Aを受ける1年生と同じ締切で小テストを受験してもらいます。詳細はmoodleに掲載するので、履修登録後、moodleを確認するようにしてください。

・以上のような受講の仕方は、moodleの「社会学入門A」のコースにも説明を載せます。

評価方法/Evaluation

平常点（各回の授業ごとの小テスト 70%+最後の振り返りテスト 30%）

教材/Text and materials

配布レジュメ・資料等：大学HP 学習支援システムMoodle（URL：<https://cclms.kyoto-su.ac.jp/>）よりダウンロード

質問や相談の方法/Instructor contact

授業に関する質問や相談などがある場合は、moodleの社会学入門Aのコースに設置する質問用フォーラム（電子掲示板）に書き込むか、担当教員にメールを送ってください。
連絡先等の詳細はmoodleに記載し、また初回授業で説明します。